

## 募集案内所が区制記念イベントに初参加

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原 陸尉）は、10月12日（月）、横浜市 栄公会堂・スポーツセンターで行われたスポーツ・レクリエーションフェスティバル2015において広報活動を行った。

このイベントは、警察・消防・JR等も協力しており、主催者側の自衛隊への熱い参加要望に応え、今回初めて参加することとなった。

会場は、サークル発表会、フリーマーケット、スポーツカルチャー体験等に区分され、上大岡募集案内所はお仕事体験エリアとして、ミニ制服試着、パーパークラフト作成、非常用糧食に関する質問、はまにゃんとの記念撮影を行った。子供達は、日頃目にしない制服や非常用糧食に興味を持ち長蛇の列ができる賑わいとなった。上大岡募集案内所は、今回訪れてくれた子供達が数年後、進路を決める時期に自衛官という仕事を少しでも思い出して選択肢の一つにしてもらえればと願いつつ、「今後も、地域のイベントに積極的に参加し、自衛隊への関心を高めてもらえるよう効果的な募集広報活動をしていく」としている。



開会式で紹介される「はまにゃん」



親子づれで賑わう自衛隊ブース

## 「自衛隊事務所前」の交差点名標識

神奈川地方協力本部相模原地域事務所前の信号機に、10月14日（水）、待望の交差点名標識が設置された。この表札は相模原市市民局市政支援課及び路政課の協力を得て「自衛隊事務所前」の名称で作成してもらい、このたび設置工事が完了したものである。

これにより、大通りからも事務所が一目で認識されやすくなり、来所問い合わせ時にも説明がしやすくなった。

相模原地域事務所は、「今後、来所者の目安となればと所員一同願っている」としている。



信号機に設置された表札

## つるみ臨海フェスティバルで自衛隊をアピール

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 赤塚 3 陸佐）は、10月17日（土）、入船公園（横浜市鶴見区）で開催された「つるみ臨海フェスティバル」において、自衛隊広報ブースを設置し、広報活動を実施した。

広報ブースでは、本年9月10日（木）に発災した「関東・東北豪雨に係る災害派遣活動」及びブルーインパルスについてのパネル展示を実施した。お祭り会場の周辺住民にとって、付近を流れる鶴見川は古くから洪水や氾濫を繰り返す暴れ川として有名で、過去70年間で17回もの水害を起こしている。今回の鬼怒川の氾濫は地域住民にとっても関心が高く、「迅速な対応で大勢の国民を助けてくれてありがとう」、「鶴見川が氾濫したときは是非お願いします」などと感謝と期待の声が多く聞かれた。また、ブルーインパルスについての展示では、「一番機の稲留 2 空佐が地元出身ということ」、「とても親近感を持った」、「是非11月3日の入間の航空祭で、地元先輩の雄姿を見たい」との声を多く聞くことができた。

横浜出張所は、「これからも地域のお祭りなどのさまざまなイベントを通じて、多くの地域住民に自衛隊の活動をPRしていく」としている。



僕も将来は自衛官になりたいなあ



鬼怒川の災害派遣の様子に見入る中学生



ブルーインパルスを応援しています